

14 海の豊かさを
守ろう17 パートナリツプで
目標を達成しよう

2026年3月19日

株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ

瀬戸内地域の「ネイチャーポジティブ」実現に向けた 株式会社イノカおよび株式会社Cキューブ・コンサルティングとの連携協定締結

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ（岡山市 社長 加藤 貞則、以下「ちゅうぎんFG」）は、瀬戸内地域の自然資本・生物多様性の保全と、地域企業の持続的成長の両立を目指し、株式会社イノカ（東京都文京区 代表取締役 CEO 高倉 葉太、以下「イノカ」）および株式会社Cキューブ・コンサルティング（岡山市 代表取締役 西原 立、以下「Cキューブ」）と生物多様性に関する連携協定を締結しました。

本協定により、企業が直面する自然関連リスクへの対応やTNFD開示後の取組みに対し、「戦略策定」「自然環境の科学的評価」「事業推進支援」を一体的に提供する体制を構築します。

1. 協定締結の背景

企業には環境経営や自然資本と企業の関係性の開示が求められている一方、自然資本への取組みを経営につなげるためには、科学的根拠にもとづく環境評価と、企業価値向上に資する戦略立案を組み合わせた支援が必要となります。

当社グループでは、これまで「瀬戸内渚フォーラム」等の活動を通じ、産官学と連携した自然環境保全のネットワークを形成しており、本協定は、その知見とネットワークを土台に、企業の環境への取組みを“実装段階”に進めるための枠組みと位置づけています。

2. 協定により取組む内容

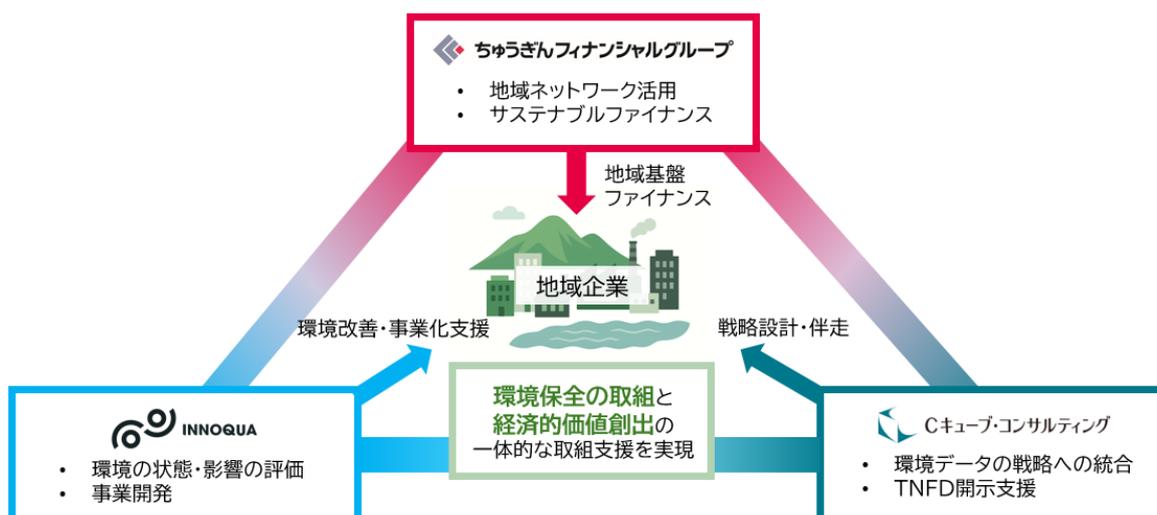
瀬戸内地域の企業を対象に、以下の取組みを三者で推進します。

- (1) 情報提供・事業推進の伴走支援（ちゅうぎんFG）
 - ・地域基盤を活用した地域企業とのネットワーク支援
 - ・事業推進へのソリューション提供
- (2) 自然環境の科学的評価・事業創出（イノカ）
 - ・自社技術を活用した海洋環境や排水等の影響の科学的評価
 - ・企業の技術による環境回復型ビジネスへの転換ノウハウ提供
- (3) 経営戦略・TNFD対応への落とし込み（Cキューブ）
 - ・科学的データを企業の経営戦略、各種開示へ反映するための支援
 - ・環境価値を企業の競争力強化につなげる戦略デザイン

3. 今後の展望

当社グループでは、地域の自然資本を基盤とした新たな産業モデルの創出（ネイチャーポジティブ経済）の実現に向け、企業の環境価値を地域経済全体の活力につなげてまいります。

■連携体制



■株式会社イノカ

2019年創業の自然環境の総合的プロフェッショナル集団。海洋・淡水の生態専門家、環境ビジネスの専門家が在籍。「人類の選択肢を増やし、人も自然も栄える世界をつくる。」をミッションに、産官学と連携して自然関連の新規事業創出をおこなう。

(株式会社イノカ HP : <https://corp.innoqua.jp>)

■株式会社Cキューブ・コンサルティング

ちゅうぎんフィナンシャルグループのグループ会社として、岡山を拠点に中四国エリアに特化した伴走型コンサルティングファーム。経営戦略から組織変革、DX支援まで多角的に展開。TNFD等の情報開示を単なる「守り」に留めず、地域の未来を創る「攻め」の事業成長へと繋げる戦略立案に定評。

(株式会社Cキューブ・コンサルティング HP : <https://www.ccube-consulting.co.jp>)

以上

本件に関するお問い合わせ先 (TEL 086-223-3110)

サステナビリティ推進部 井上 (086-234-6351)

広報センター 岡嶋 (内線2255)